

# はらじゅくかわら版



## 独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センターの理念

私たちは、患者さまの人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者様中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供すると共に、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者様がより良い医療が受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



平成18年3月竣工予定の横浜医療センター宿舎完成予定区 建築戸数 3F 3棟 独身宿舎68戸 世帯宿舎3戸 管理入室1室、駐車場23台、駐輪場78台

## 第10号 目次

横浜医療センターの基本構想「更新築計画」(案)ができました。 1

**地域医療連携**

病診連携施設紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

地域医療連携室から・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

栄養管理チーム(NST)活動・・・・・・・・・・・・ 4

**お知らせコーナー**

医療安全管理室より・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

看護部だより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

H18年入学試験/ボランティアの募集・・・・・・ 7

**シリーズ**

時節の病気/気になる病気・・・・・・・・・・・・ 8

職場紹介 一 呼吸器外科・洗濯場・・・・・・・・・・ 9

栄養相談について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

## 行事等紹介

院内ACLS訓練/救急医療功労者表彰・・・・・・ 11

さくらんぼ保育園・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

患者数の動向/編集後記・・・・・・・・・・・・・・ 14

外来担当医表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

発行 月：平成17年10月  
 発行 行：独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター  
 広報委員会  
 発行責任者：高橋 俊毅  
 住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2  
 電 話：045-851-2621  
 F A X：045-851-3902  
 U R L：http://www.hosp.go.jp/~yokoham/

# 横浜医療センターの基本構想「更新築計画」(案)ができました。

独立行政法人国立病院機構 横浜医療センターとして昨年の4月にスタートし、1年半が経過しました。最大の懸案事項でありました病院整備の資金返済計画を財務当局に説明し、ほぼ説明が終了したところであります。順調にいけば2年以内に整備が開始される見通しとなっております。今後、順次皆様にお知らせいたしますが、横浜医療センターの理念でもあります「患者様中心の医療」、「地域完結型医療」「地域で選ばれる病院」を目指し、地域の皆様を始め、職員に選ばれる病院にしたいと考えております。また、整備に当たっては建築資金の償還性を考え、現在の診療機能を維持しながら、安定した経営を続けることが新病院を整備するための前提となっております。ここ2年以内に現在の看護学校、看護宿舎を別地に整備し、入れ替え調整を行いながら解体を行い、跡地に病院本体を整備する方針としております。

職員一人一人の職責が最大限発揮できるような職場環境、地域の皆様にとっても喜んでいただけるような療養環境を重視した医療施設ができるようにしたいと思っております。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



事務部長 香西 英夫

## 横浜医療センターの基本構想「更新築計画」(案)

### 1. 基本方針

がん、循環器病などに関し、ナショナルセンター等の連携の下に、専門的な医療、臨床研究、教育研修および情報発信の機能を備えた施設として整備（運営）する。

また、災害時の診療支援機能を備え、関東信越ブロックにおける高度で総合的な医療等を備えた施設として整備（運営）する。

上記の方針に基づき、地域医療関係機関との密接な連携をもつ地域完結型医療を目指し、「地域医療支援病院」等の機能を備えた医療施設として整備(運営)する。

### 2. 概要

- (1) 病床規模
- |      |                    |
|------|--------------------|
| 病床数  | 500床（一般470床、精神30床） |
| 外来規模 | 750人               |

- (2) 主たる機能  
(診療)

- ア. がん、循環器病、精神疾患、成育医療、内分泌・代謝性疾患、骨・運動器疾患、肝疾患、長寿に関する専門的な医療を行う。
- イ. エイズに関する専門的な医療を行う。(エイズ治療拠点病院)
- ウ. 災害時の診療支援機能を備え、高度で総合的な医療を行う。
- エ. その他  
救命救急センターとして第三次救急を行う。

- (臨床研究)

主たる診療機能に関する臨床研究を行う。

- (教育研修)

医療関係者に対する教育研修を行う。

臨床研修指定病院(単独型及び協力型の併用)

- (3) 診療科 (26診療科)

内科、心療内科、精神科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、アレルギー科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科（歯科は入院対応）

# 地域医療連携

## 病診連携施設紹介

### 関野内科医院

診療科目：内科・胃腸科・小児科



下段中央 院長 関野 壯

小院は藤沢市北部の小田急線六会日大前駅に近い、横浜医療センターからは約5kmの所があり、昭和23年当地で父が開業、同59年から継承しています。46年に藤沢市民病院が開院するまで、近隣の基幹病院としては唯一国立横浜病院（現横浜医療センター）のみで、多数の患者さんを救って頂き、現在も引き続き大変お世話様になっております。

小院は内科一般と消化器を主体としておりましたが、高齢者の増加に伴い循環器、呼吸器、糖尿病の専門医に外来の応援を依頼して多少とも奥行きを深めるよう努めています。がん治療における免疫療法（免疫細胞療法、ワクチン療法など）に対する自身の体験から、がんの患者さんで希望される方にはその効果につきアドバイスしています。

ほぼ毎月開催される横浜・藤沢消化器病研究会では小松医長先生はじめ多くの先生方から最新の治療とその成績、紹介した患者さんを通して診断の過程、経過の推移等を提示して頂くなど生涯研修させて頂き感謝しております。

クリティカルパスが認識されつつありますが、外科の佐藤医長先生がさらに進められた胃・大腸がんの術後長期連携パスは患者さんには勿論、医療経済からも、また私ども診療所にも最新の治療法の知識がもたらされ、誠に歓迎される病診連携と存じます。

横浜医療センターの益々のご発展を念じ上げ、今後もご指導のほど宜しくお願い申し上げます。



### 関野内科医院

〒252-0813 藤沢市亀井野1-21-12

TEL 0466-81-5615 FAX 0466-81-9638

診療時間

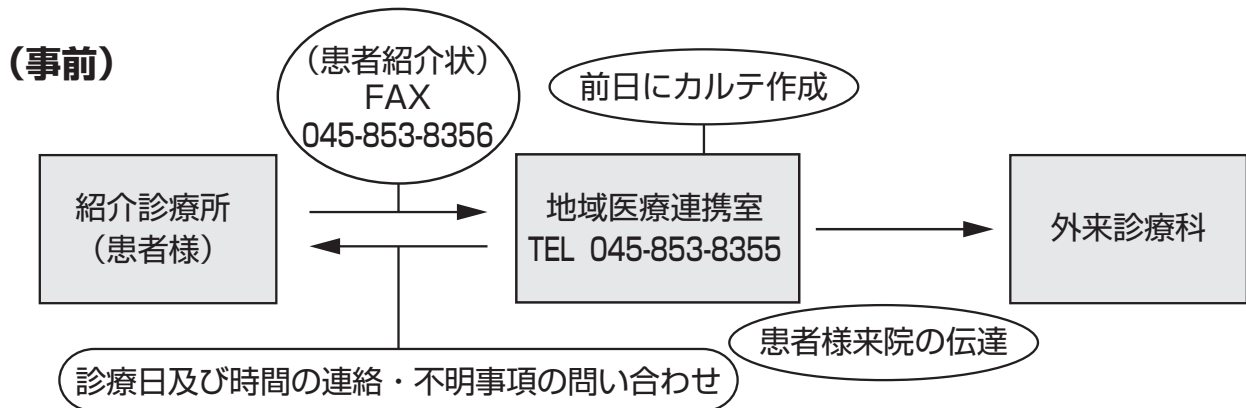
月・水・金 9:00～12:00 15:00～17:30

火・木・土 9:00～12:00

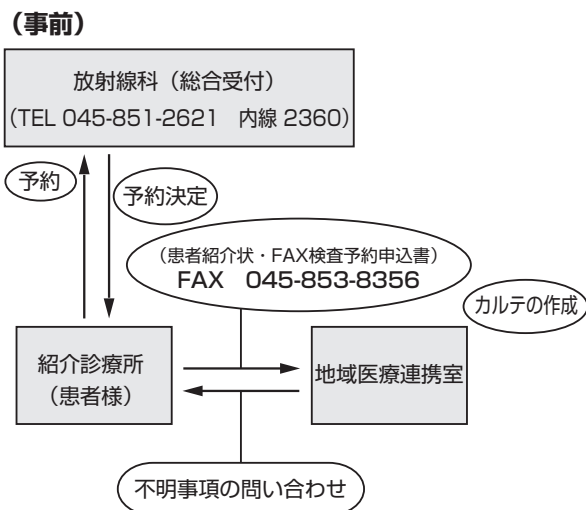
休診：日曜日・祝祭日

# 地域医療連携室から

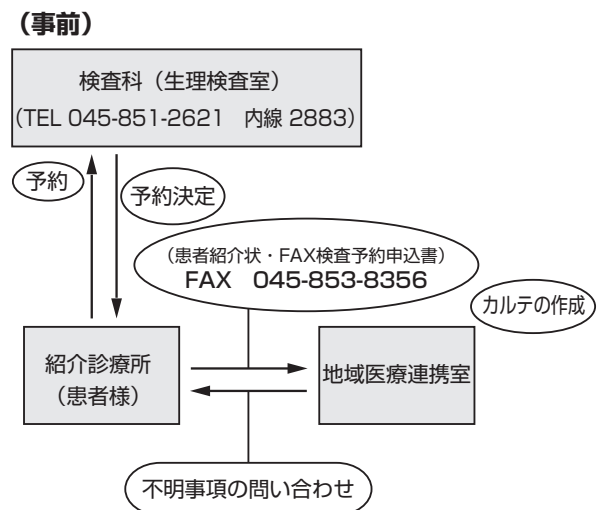
## 診察の予約紹介フローチャート



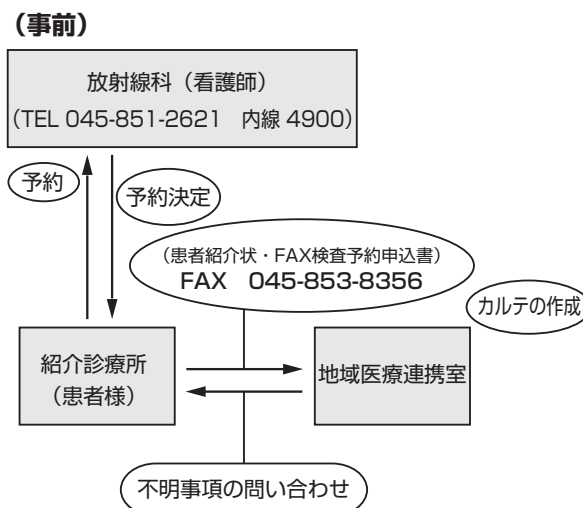
## CT・MRI・RI検査予約フローチャート



## 超音波・脳波検査予約フローチャート



## 放射線治療予約フローチャート





# 栄養管理チーム(NST)活動

胃・大腸腫瘍術後の患者さん、ご家族に栄養療法の相談が可能となりました。

## 1 当院の胃・大腸がん手術後の患者、ご家族が対象です。

昨年より、胃・大腸腫瘍術後の患者さんの多くは開業医の先生と協力体制を敷いて拝見させて頂いていることはご存知であると思われます。従来の機能に加えて退院後の栄養管理が出来るようになりました。胃の手術の場合は、胃がなくなる、あるいは胃が小さくなることにより、必然的に食事の取り方に変化がおき、実際の摂取量や摂取方法に不安を感じられている方も多いと思われます。また、大腸の手術後においては、手術直後は体重が落ちますが、多くの方々ではしばらくすると、体重が増加し、太り気味になってしまいます。その問題点を解決するために、実際の摂取量から、総カロリー、3大栄養素（炭水化物、たんぱく質、脂質）、ビタミン、ミネラルの実際の摂取量を計算し、どの部分が多く、どこを改善すれば問題点が少なくなるかを個々の患者さんの実際の食事の内容をお教え頂き分析いたします。

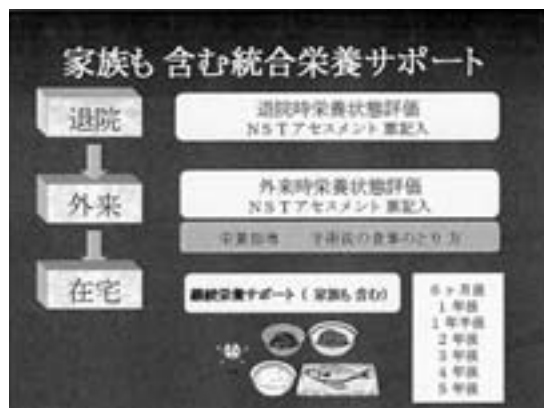


外科医長 佐藤靖郎  
(救命救急センター副部長)

## 2 患者さん本人だけでなく、ご家族も含めて分析いたします。

胃・大腸手術の後、ご本人の食生活に変化が起こるため、ご家族の食生活にも変化が起こるということは十分に考えられます。

そこで、患者さん本人だけでなく、ご家族も一緒に分析することにより、より相互関係が明確になります。結果、ご家族の食事も改善され、患者さん御本人を取り巻く環境にも良い影響を与えることができると考えております。



## 3 一週間分の食事内容のメモが必要です。

一週間分の食事内容を提出して頂けば、家族全員の詳しい分析が可能となります。たとえば、入院前、手術後と比較すれば、手術前の状態に近づけるにはどの様にすれば良いのか個々の患者さんごとに明らかにすることができます。

また、ご家族の中にも慢性疾患で治療を受けており食事内容を検討してもらいたい、最近食事についての悩みがある方などにも最適です。

以上胃・大腸腫瘍手術後の栄養相談について述べさせていただきました。

# お知らせコーナー

## 医療安全管理室より

7月7日（木）18時から19時まで大会議室で西4病棟（糖尿ケアチームユニット）主催の「糖尿病事故防止セミナー」が行なわれ、看護部、臨床検査科、薬剤科、診療部から合計48名の出席者がありました。

糖尿病の患者さまは内科に限らず糖尿病を合併し他の診療科病棟にも入院されています。特にインスリンに関するものは、最近、種類が増え、用法が変わってきていて、知識がないと間違ってしまう危険があります。

今年度は糖尿病治療について、正しい知識を得るために、全職員対象に薬剤科：横山副康孝薬剤科長より『糖尿病治療薬、インスリン注射薬についてのリスクマネジメント』、看護部：長嶋美里糖尿病療養指導士よりヒヤリ・ハット体験報告を元に事例検討を行ないました。

会場からは採血に関して『血糖測定器により値に誤差がでることがどうしてか』という質問がありました。これに対して、『アルコール綿で皮膚消毒をした後、乾燥しないうちに測定している、あるいは血液量が少ない』等正しい方法で測定していないことが注意点として指摘されました。また、インスリンの保管方法で注意することは、使用中のペン型インスリンを必ず室温で保存すること、冷蔵庫で保管すると結露することが指摘されました。

今回のセミナーを通して、超即効型インスリンや次々と開発され使用されているインスリン注射器についても情報を共有する機会となりました。今後も安全な医療の提供ができるように日々、研鑽していきたいと思っております。



糖尿病事故防止セミナー風景

## 横浜医療センター病例検討会・研究会開催のお知らせ

### 西横浜整形外科症例検討会

開催日時 毎月第3木曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 日塔整形外科医長  
045-851-2621（代）

### 横浜藤沢消化器疾患研究会

開催日時 毎月第2月曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 小松消化器科医長・松島消化器科医長  
045-851-2621（代）

各症例検討会・研究会にご興味をお持ちの先生は、どなたでも参加を歓迎いたしますので、ご連絡下さい。

# 看護部だより

## ●手術室副看護師長 佐野陸美

私は、半年間、**感染管理認定看護師**資格取得のため感染管理について専門的な知識や技術を学んでまいりました。感染管理認定師の役目は組織を横断的に他職種との連携、部門間の調整を取り、院内でのサーベイランスの実施、感染防止技術・職業感染防止対策、コンサルテーション、ファシリテイマネージメントなどの相談機能とこれらの指導・実践です。さらに院内感染発生時の対応、アウトブレイク調査、最新情報の提供など、スタッフがよりよい感染対策活動ができるよう働きかけていくことだと思っています。世界では感染症でなくなる人が死亡原因の第2位にあげられ、予防することで多くの人々を救うことができます。私はナイチンゲールの言葉に「感染症において看護のできることはただ予防することだけ」という言葉に感銘をうけ感染管理の道をめざしました。これらを実践するにはけっして一人ではできず、多くの協力者・理解者が必要であります。これから病院職員の方々に感染管理に関心を持っていただける活動、患者様を感染から守る活動、一方で患者様も守るが同時に医療従事者が安全な環境で業務が行える、そのような活動を目指していきたいと思えます。



院内感染対策フェアにて手洗い評価体験の指導をする筆者(右側)



## ●西5階病棟副看護師長 村方 幸

私は今年の8月に、念願であった**がん性疼痛看護認定看護師**の免許を取得しました。がん性疼痛看護とは、がん自体の痛みやがんの治療からくる痛みなど、がんに関連した痛みを緩和する看護です。私は、内科病棟を経て、今は外科病棟で勤務しています。患者様が治療を行うときや、人生の終わりを迎えるとき、それぞれの場面で痛みが障害となっていました。私はこの痛みをできるだけ取り除き、患者様が自分らしく過ごせるように力になりたいと思い、認定看護師を目指しました。



痛みには、体の痛みだけでなく心の痛みや、病気により生活を阻害された苦痛など様々な側面があります。まず、体の痛みを薬で緩和していくことが基本となります。しかしそれだけではなく、痛みによって障害された生活をできるだけ元に戻せるように、患者様や他の医療者と協力していきたいと考えています。患者様と話す時間を大切にして、患者様が望む痛みの緩和を目指してがんばっていききたいと思います。



## ●西3階病棟看護師 牧野麻希子

### WOC認定看護師の活動について

**WOC (創傷・オストミー・失禁) 認定看護師**の仕事内容についてお話ししたいと思います。普段は西3階病棟勤務ですが、毎週月曜日は活動を院内全体に広げ、病棟や外来からの依頼への対応や、浅い褥瘡の患者様をラウンドし、病棟スタッフと処置を行っています。その他に第2・4週の水曜日の午後にストーマ外来を泌尿器科外来で開いており、一人当たり約45分で診察しています。ストーマ外来はその名のとおり、消化管や尿路のストーマの患者様が装具や皮膚の相談に訪れるところです。しかし、それだけではなく、普段の生活で困ったことや、疑問点を相談する場でもあります。実際に処置をせず、相談のみで来院される患者様もあります。時間の許す限り処置のみではなく、少しでも心が軽くなるようにいろいろな話が気軽にできるストーマ外来にできたらいいなあと思っています。





# 平成18年度 横浜医療センター附属看護学校入学試験について

下記の日程で入学試験を行います。「将来看護師になりたい!」「看護の勉強をしてみたい!」など、興味のある方は、是非募集要項をお取り寄せ下さい。

第一次試験（学科試験）平成18年1月17日（火）

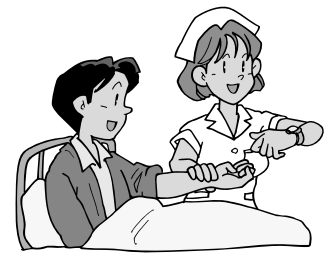
第二次試験（面接試験）平成18年1月19日（木）

## 募集要項請求方法

郵送により配布します。封筒の表に「募集要項請求」と朱書きし、住所・氏名を明記の上、小為替2,000円を同封し、お申し込み下さい。

申し込み先 〒245-0063 横浜市戸塚区原宿3-60-2

独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター附属看護学校 入試係



## ボランティアを してみませんか

### 活動内容

- ・インフォメーション（案内）
- ・タオルたたみ
- ・花の水かえ
- ・子供の遊び相手
- ・花壇の手入れ
- ・本の整理
- ・車椅子使用者の介助



### 活動曜日と時間

- ・月曜日～金曜日（休日を除く）8:30～17:00  
2～4時間程度

### 心構え・その他

- ・ボランティアは心身ともに健康であることが大切です。
- ・ボランティアは16歳以上の方が対象です。
- ・患者さまのプライバシーを守りましょう。
- ・病院の規則や指示に従って活動します。
- ・活動を根気よく続けることに意義があります。
- ・交通費・食費は自己負担になります。



### 病院ボランティアとは

- ・病院内で、病院職員と協力し合い、患者さまが安全で安楽に入院生活が送れるように、自発的に無報酬で奉仕活動をする人のことです。
- ・医療に関する専門的な知識がなくても、ボランティア自身の経験や技術を活かした活動、誠意ある心からの活動ができることがボランティアです。



# 時節の WINTER 病 気

## シリーズ

～ ヨウレンキン(溶連菌感染症)ってなんだろう? ～

小児科部長(母子医療センター 副部長) 伊部正明



風邪だと思って病院に行ったら、医者から「扁桃炎ですね。ヨウレンキンかもしれないですね。」と言われたことはありませんか? これは、A群β溶血性連鎖球菌(溶連菌)という細菌が原因で起こる感染症で赤い発疹のであるタイプもあり、最近では早期に抗菌薬を使用するため症状がそろわないもの、繰り返すものも多く、これらをまとめて一般的に溶連菌感染症と呼ばれています。溶連菌はくしゃみや唾液でうつります。この菌の感染を受けてから2～4日後に、急に38～39℃の高い熱が出て、のどの痛みとはれ、嘔吐、頭痛、腹痛などの症状が見られます。首のリンパ節がはれたりします。その後、細かな発疹が全身にたくさん出ることもあります。発病後1週間から2週間にかけて手や足の指先から皮がむけることもあります。舌には、白いコケがつき、3～4日すると、舌の表面にも赤いブツブツができて、イチゴの表面のようになり“イチゴ舌”とよばれる状態になります。**こうした特徴が明らかなのは4歳以上のこどもで、それより小さいお子さんの場合、感染しても症状がはっきり出ないことが多く、ただの風邪のように思える場合があります。**

**診断**には、のどの細菌検査が必要です。最近では、迅速診断法が開発され、のどを綿棒でこすってとったものから約15分で結果がわかります。**治療**には抗菌薬が有効で、1～2日内服すれば熱はさがり、のどの痛みも取れ、感染性もなくなります。しかし、抗菌薬をはやく止めてしまうのは危険で、他の細菌感染と異なり血尿やむくみなどが現れる急性腎炎や心臓弁膜症の原因となるリウマチ熱などの合併症を起こすことがあります。溶連菌感染があった患者さんの扁桃から完全に溶連菌を消滅させるのには、最低10日間の抗菌薬の内服が必要です。お薬をきっちり内服し、その後合併症のチェックのために、診察と尿検査を受けるようにしましょう。また、抗菌薬を内服していない患者さんから人にうつることがありますので、かかりつけ医に相談しましょう。

## 気になる病気

### 子宮頸癌の早期発見と診断・治療

子宮癌には子宮頸部にできる子宮頸癌と、子宮体部内膜にできる子宮体癌があります。子宮頸癌は比較的若い女性に多く、30歳代から40歳代にピークがあり、若い人ほど初期のものが多く、治りやすいのも特徴です。検診が早期発見、早期治療、治療につながり、早期に発見すれば子宮を摘出しないで治すこともできます。結婚年齢の上昇に伴い、30歳を過ぎてから子供を持ちたいと考える女性も増えており、子宮頸癌の検診を受けておくことはたいへん重要です。現在は20歳以上の女性は頸癌の検診をうけるのがよいとされています。頸癌の原因のひとつがヒトパピローマウイルスであることがわかっており、これは性行為により伝播するため、初めて性行為を持つてから1～2年したら頸癌の検診を受け始めると安心です。全く異常がなければ2年に1回の検診でよいとされています。この検診では細胞診という細胞の検査を行いますが、これで異常があれば精密検査が必要になります。この精密検査では、コルポスコープといって頸部を拡大して異常のある部分の組織検査をします。細胞の異常があっても癌でないことも多く、異形成といって経過をみていると消失してしまう性格のものもあります。癌であってもごく初期で上皮に限局しているものでは子宮頸部のみを切除(円錐切除)することで、子宮の機能(妊娠、出産)を残したまま治せるものもあります。当院では、希望により子宮頸癌0期(上皮内癌)、I a 1期(微小浸潤癌)では円錐切除術を行っています。この手術は2日から4日ほどの入院で治療が可能です。また、もう少し進んだ癌では、広汎子宮全摘術という手術が必要で、リンパ節への転移があるかどうかを調べます。さらに進行したものでは放射線治療と化学療法を同時に行っていきます。進行すると癌が治っても治療による後遺症の可能性があり、早期に治療を受けたいものです。



産婦人科部長  
永田順子

# 職 場 紹 介

●今回は呼吸器外科／洗濯場の紹介です。

## 呼吸器外科 部長 坂本 和裕

呼吸器外科は2004年4月に新しく専門科として開設され、呼吸器外科専門医として、私が着任いたしました。開設初年度より周囲の医院・病院から多くの患者様をご紹介いただき手術症例数が急増いたしましたので、2005年4月には医師1名増員（正津晶子医師）の運びとなりました。また9月には最新の胸腔鏡（ビデオモニターシステム）が従来のものに加えて導入されました。呼吸器外科は、肺・気管支・縦隔・胸壁・横隔膜に生じた疾患の手術治療を主に担当します。当科では胸腔鏡を多くの胸部手術（開設後8割以上の手術）に導入し低侵襲手術（身体に優しい手術）を心がけております。



筆者 前列左側

主な対象疾患は、肺悪性疾患（肺癌、転移性肺腫瘍）、肺良性腫瘍、自然気胸、肺気腫、気管疾患、縦隔腫瘍（胸腺腫瘍、神経原性腫瘍など）、重症筋無力症の胸腺全摘術、膿胸、手掌腋窩多汗症、胸壁腫瘍、漏斗胸、胸膜疾患（胸膜中皮腫など）、横隔膜疾患、胸部外傷、気道内異物などです。

外来日は毎週金曜日の午前中です。新患の方は予約や紹介状はなくても構いません。受付は朝11時までです。再来は原則的には予約制ですが、予約外の診察もいたします。また他の曜日の受診でも外科と連携し対応いたしております。

## 洗濯場 洗濯長 川邊重実

洗濯場は現在5名の職員で下記業務に従事しています。

### 業務内容

- ・診察衣・看護衣（ズボン）の回集洗濯・糊付け・プレス・畳み込み・仕分け・配達。
- ・各病棟管理用小物・汚染清拭タオル、放射線科・OP室の汚染物の回集・洗濯・プレス・乾燥畳込み・仕分け・配達。

尚、低温洗濯は温度調節をして洗濯・乾燥畳込み・仕分け後、配達を行っている。

- ・各病棟、病室間仕切りカーテンの洗濯（年一回）。



筆者 前列右側

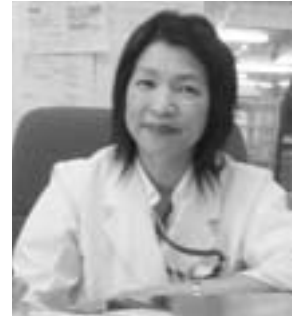
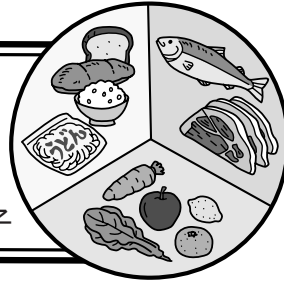
### スタッフを代表して一言

診察衣・白衣等に関しては患者様が見て不愉快がないよう、又、着る人が快適に仕事に従事出来るよう、その他の洗濯物についても、今後とも丁寧・敏速にを心掛け、尚一層努力していきますので宜しくお願いします。



# 『食欲の秋』とダイエット

栄養管理室長 川村 美和子



食欲の秋となり、店頭には銀色に輝く『さんまや秋鮭、鯖』、つやつやの『新米』、野菜・果物も『なしやぶどう、りんご、柿、きのこ、蓮根、大根、さつまいも、栗』などなど、秋の香りいっぱい食品が並んでいます。気候的にも過ごしやすく、秋の色や食材の香りに誘惑されて、ついつい食べ過ぎてしまいがちな秋ですが、『太るに1日、やせるに7日』です。体重が赤信号の人は食欲の秋だからこそ、ダイエットしてみませんか？

『太る』ということは食べているエネルギーの方が運動や身体を動かすといった消費されるエネルギーよりも多く、余ったエネルギーは中性脂肪となり、内臓脂肪や皮下脂肪にまわされ、体重が増えてくることです。

私たち栄養士が糖尿病や高脂血症、高血圧など生活習慣病の栄養指導をしていて気づくことは、自分が1日に食べている量をわからない方が以外と多いということです。少し大変ですが、食べた量と動いた記録と毎日の体重を記録することからはじめてみましょう。記録することによって、なぜ太ってしまうのか、生活習慣病との関係が理解できます。

月日	体重(kg)	食べたもの	行動記録	
9月20日	50.5	朝 トースト ゆで卵 サラダ  *夕食後にケーキを食べた	昼 ざるそば  夕 ごはん さんま 煮物 酢もの	5800歩 (朝 歩く)
9月21日	51.0	朝 トースト サラダ ヨーグルト	昼 コビレ弁当 (500kcal)  夕 ごはん 鮭塩焼 お浸し 野菜炒め	10000歩 (夕方歩く)
9月22日	50.5			

このように記録をすることによって、体重の変化がわかり、自分なりの問題点が見えてくるはずです。『夜のケーキはやめる』『もう少し歩く回数を増やす』など課題が見えてくるはずです。1つ1つ太る習慣をとっていけば、減量2kgから5kgへ10kgへと続くはずです。ダイエットに近道はありません。毎日コツコツが大切です。



秋の素材であるきのこ料理にチャレンジしてみませんか？  
「たこときのこのバジル炒め」、「鮭ときのこマリネ」、「豆腐としめじのポン酢和え」など、工夫次第では1皿80～160kcalとおにぎり1個分のエネルギーです。  
美味しく、楽しくダイエットしましょう。  
栄養相談はお気軽にお申し出ください。



# 院内 ACLS 訓練の紹介

当院ではAED(自動体外式除細動器)《写真1》を院内の各所に設置いたしました。AEDは自動的に不整脈を解析し、必要なら除細動(電気ショック)を行う装置です。これを用いることで今までは医師しか行えなかった不整脈、心肺停止時の除細動治療を一般市民が行えるようになりました。AEDは飛行機、飛行場、劇場や、デパート、駅など人が集まるところに順次設置されており、皆様も目にされたことがあるかと存じます。このAEDを用いることで医師が現場に到着する前に、先に駆けつけた人が(看護師、技師、事務系職員など)救命治療に当たることができます。より早く治療を開始することで命を救おうとするものです。



当院では院内の患者様容態急変時にすばやく対応できるよう去る9月9日、院内ACLS訓練を実施しました《写真2》。実際に患者様の急変が起こりえる場所での実践的訓練であり、今後も各部署で訓練を繰り返し、研鑽を積んでいく所存です。



(救命救急センター 副部長 藤田誠一郎)

## ●平成17年度神奈川県救急医療功労者表彰 受賞

昭和57年8月に救命救急センターとなって以来、23年の永きにわたり多数の重傷・重篤な救急患者の受け入れ、また横浜市の循環器や母子、小児などの二次輪番病院として地域医療の中心的役割を果たしてきたことが評価され、H17.9.9県副知事より表彰状と記念品が贈られました。



### ◆◆◆ 医師の人事異動 ◆◆◆ (H17.7.2~H17.10.1)

退職者				採用者			
発令年月日	氏名	職名	退職後の施設名	発令年月日	氏名	職名	医大卒年
平成17年7月31日	石川 弥	泌尿器科医師	北里大学病院	平成17年8月1日	奥野 紀彦	泌尿器科医師	



## 行事等紹介

# さくらんぼ保育園 親子ふれあい花火大会

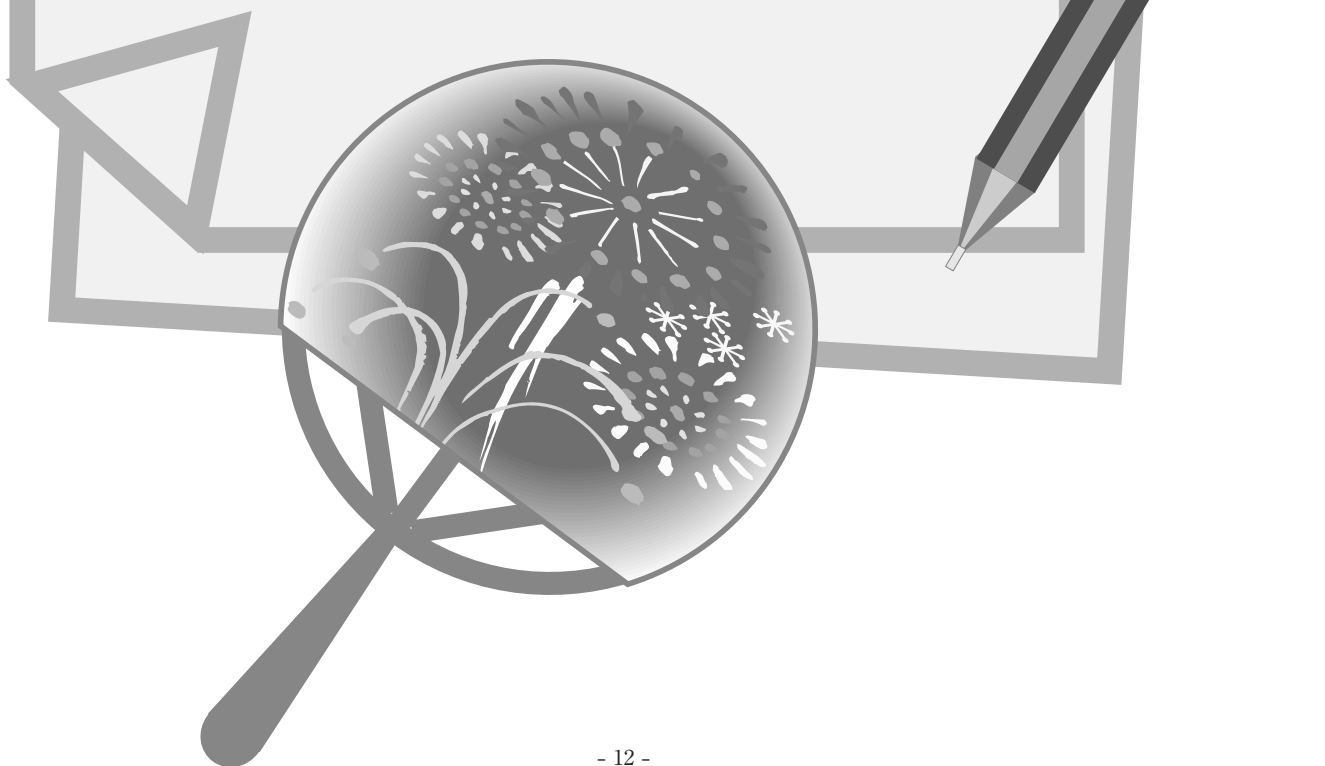
夕方なお蝉の声が鳴り響く8月5日、院内のさくらんぼ保育園で、親子の声も、こだましました。七色に光輝やく花火の閃光とともに…。

H16年4月、横浜医療センター職員の院内保育施設として設立された、当保育園は、ピジョン(株)の受託運営により、大事なお子様をお預りしています。私達は、保護者の方々と一緒に、子育てをしていきたいと日々、情熱をもって保育をしております。

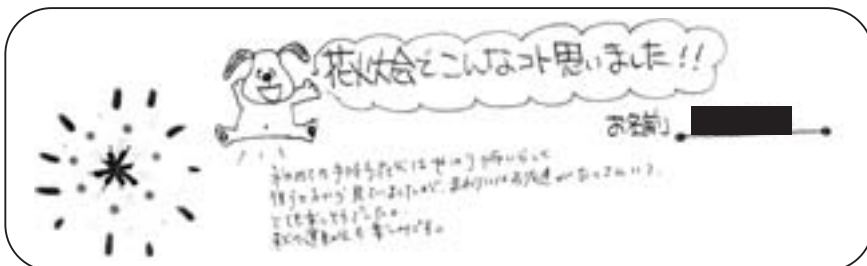
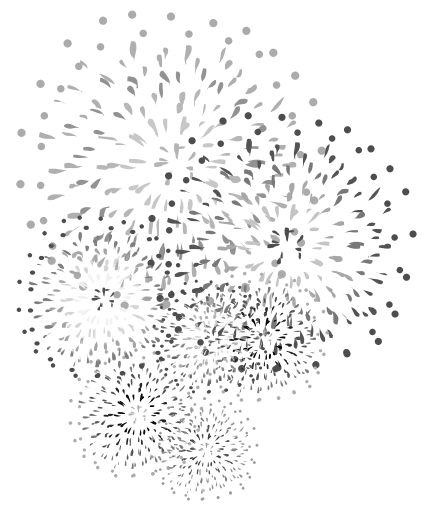
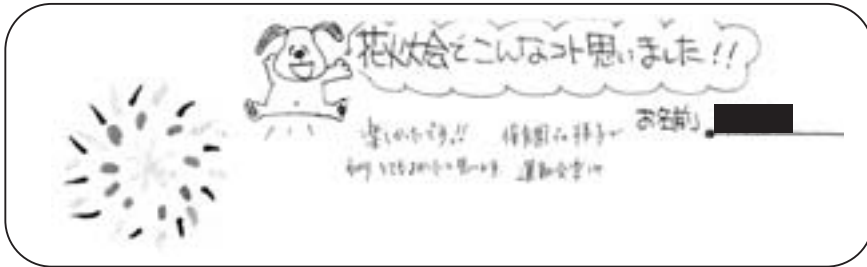
そんな思いの1つとして、日々お忙しく元気に頑張っている保護者の方々の、ありがたいご協力の元、親子ふれあい花火大会が開催されたのでした。親子で一緒に、歌を歌いながらダンスをし、そして、花火をパチパチとしている風景。何気ない日常の一コマでしたが、皆、とっても、暖かい気持ちになりました。

ここで、保護者の方を代表し、花火大会の感想を添えさせていただきます。

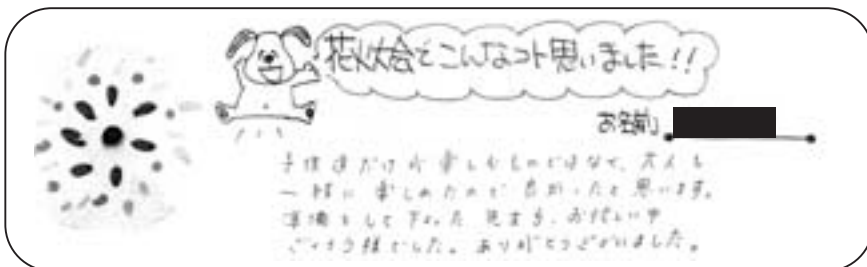
尚、さくらんぼ保育園ってどんなところ？と思われましたら、いつでもいらして下さい。一緒に素敵な時間を過ごしましょう。



# 行事等紹介

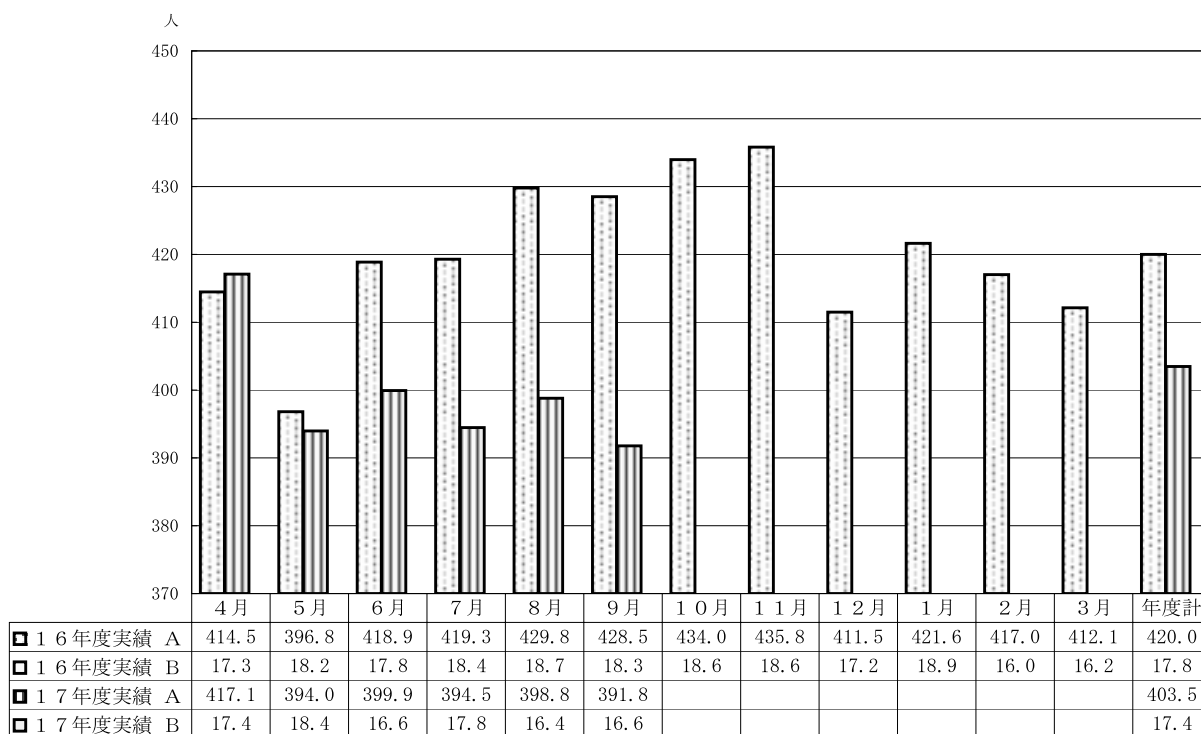


向かって左、筆者 亀山治美園長

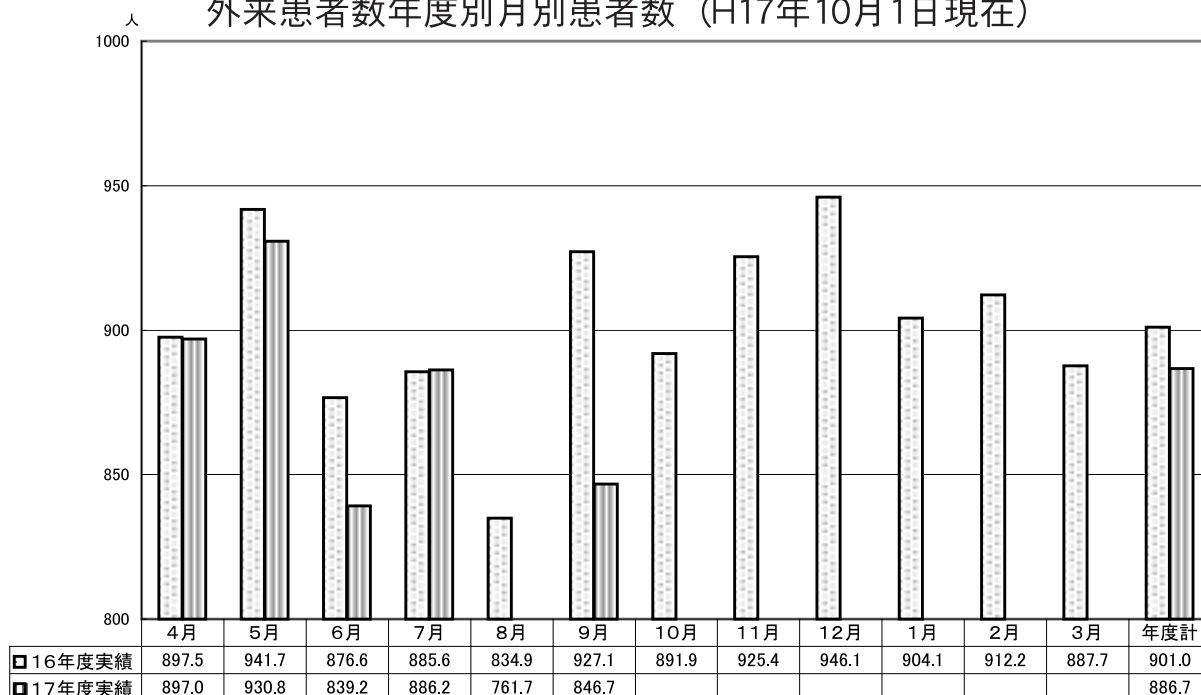


# 患者数の動向 ～1日平均～

入院患者数年度別月別比較 (H17年10月1日現在)



外来患者数年度別月別患者数 (H17年10月1日現在)



## 編集後記

スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、と様々に称されるこの季節。今年も子供の運動会で、父兄競技に参加、全力で走るわけでもないのにハアハア、ドキドキ。いつのまにか成人病を心配しなければならない年齢です。毎年のように高血圧、糖尿病、高脂血症等成人病と言われる病気に対する新しい薬が出ていますが、成人病は生活習慣病と言うそうで、まずは、飲み過ぎ食べ過ぎに気をつけ適度な運動による予防が第一と。解っていても、なかなか改まらないのが生活習慣。仕事柄、患者様に生活習慣病の薬を説明する時は、適切な生活習慣という土台があつての薬ですとお話するもののはたして説得力があるのか否か。始めるのはこの季節とジョギングシューズを買ってはみたものの、今夜は見逃せないスポーツ中継、自分がやっつるつもりで大騒ぎ。取りあえず、ムキムキふくらはぎへの道は、明日から。

櫻井祐人

診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考
総合内科・初診	交代医師			大野 美香子	大野 美香子	△:午後のみ診療 ▲:紹介状持参の方のみ
内科	高木 佐知子	宇治原・高木	鈴木 信周	宇治原 誠		(火)第1.第3.第5.【宇治原】・第2.第4【高木】
神経内科	上木 英人	△高橋 竜哉	検査日	上木 英人	検査日	
呼吸器科	椿原 基史	検査日	松本 裕	検査日	椿原 基史	
消化器科	交代医師	塚田 百合子 △小松 達司(肝)	松島 昭三	清水 健	小松 達司	《循環器科新患当番医》
循環器科	青崎 正彦 巽 藤緒	加藤 丈二 岩出 和徳	田中 直秀	▲田中 直秀	岩出 和徳 米村 文雄	(月)第1.第3.第5.【米村】・第2【田中】・第4【岩出】 (火)田中・(水)岩出・(木)田中【岩出】・(金)加藤
アレルギー科	青木 昭子	検査日	検査日	△武田 由希子	武田 由希子	
心療内科	検査日	加藤・中川	検査日	小澤 篤嗣	検査日	完全予約制。(火)第1.第3.第5【加藤】・第2.第4【中川】 表は再来担当医初診医は原則別の医師となります。
精神科	立山 哲也 中川 牧子	小澤 篤嗣	加藤 英之	立山 哲也	小澤 篤嗣	
小児科	伊部 正明 石田 華	渡辺 由佳 伊部 正明	伊部 正明 大濱 有子 福山 綾子	伊部 正明 能本 紀子	渡辺 由佳 伊部 正明	
外科	佐藤 靖郎 交代医師	関戸 仁 土井 卓子 ★田辺 美樹子	◇大滝 修司 ○若杉 純一 牧野 洋知	土井 卓子 田辺 美樹子	◆高橋 俊毅 ◆山本 俊郎	◇:第2・第4水曜日 予約制 ◆:完全予約制 ○:毎週予約制 ★午後診療のみ
呼吸器外科					坂本 和裕	
整形外科	三谷 秀俊 村瀬 知男 葉梨 大輔	日塔 寛昇 三谷 秀俊 遠藤 あかね	三谷 秀俊 葉梨 大輔 村上 恭平	日塔 寛昇 村瀬 知男 村上 恭平	村瀬 知男	(受付時間)初診・予約外再診とも 8:30～10:00
形成外科	高瀬 税		△高瀬 税	高瀬 税	高瀬 税	△:手術日のため午前のみ
脳神経外科	急患のみ (手術日)	▲ 交代医師	竹本 安範	急患のみ (手術日)	藤津 和彦 市川 輝夫	▲ 第1・3・5週(火)・松永 成生 第2・4週(火)・宮原 宏輔
心臓血管外科	東館 雅文	手術日	検査日	大野 英昭	東館 雅文	
皮膚科	坪井 廣美 松井 矢寿恵 山本 都美	坪井 廣美 松井 矢寿恵 山本 都美	坪井 廣美 松井 矢寿恵 山本 都美	坪井 廣美 松井 矢寿恵 山本 都美	坪井 廣美 松井 矢寿恵 山本 都美	
泌尿器科	本田 直康	本田 直康	手術日	奥野 紀彦	本田 直康	
産婦人科	婦 中村 秋彦 産 永田 順子	外村 光康	中村 秋彦	(新患のみ)	永田 順子	
眼科	設楽 幸治 中矢 かおり	設楽 幸治 中矢 かおり	設楽 幸治 中矢 かおり	設楽 幸治 中矢 かおり	急患・新患のみ(手術日)	(受付) 初診・予約外再診とも 月～木曜日 8:30～10:00 新患・急患のみとなります。金曜日 8:30～9:30
耳鼻咽喉科	山田 昌宏 榊原 敦子	山田 昌宏 榊原 敦子	手術日	榊原 敦子	山田 昌宏 榊原 敦子	
放射線科	栗原 須生美 ※注①	中山 優子 ※注②	日下部 きよ子 (甲状腺外来) ※注③		中山 優子 ※注②	※注①月曜日 8:30～11:00【完全予約制】 ※注②火・金曜日13:30～15:00【予約は内線4900まで】 ※注③診察日は放射線科にお問い合わせ下さい。
歯科口腔外科	塩入 重彰 丸山 貴子	塩入 重彰 丸山 貴子	手術日	塩入 重彰 丸山 貴子	丸山 貴子(午前のみ)	新患(紹介状又は、診療情報提供書を持参して下さい)【可能な限り】 新患は、火・木曜日の午前8:30～11:00まで。再診(完全予約制)。
小児科	発達(能本)第2週 第4週 感染免疫・ぜんそく (伊部) 感染免疫・ぜんそく (伊部)	感染免疫・ぜんそく (伊部) 腎(伊部)・喘息(石田) ※第一週	予防接種 石田・渡辺 (伊部)	乳児検診 (能本・大濱)	喘息(石田) 神経(武下) ※第2週	小児循環器科:第3週金曜日(9月・12月)後3ヶ月ごとに実施
外科	乳腺外来 ※注④		癌化学療法外来 (午前診療)			※注④ 横浜市乳癌検診の受付: 8月15日より14:00～16:00 乳癌検診
乳腺外来		乳腺外来	ストーマ外来 ※第2週	癌化学療法外来		※注⑤ 担当医:外科土井、内科青木・皮膚科坪井・婦人科紅露
女性診療外来	※注⑤					女性のための総合診療をめざす外来です。 完全予約制ですので電話で予約して下さい。婦人科は非常に混雑しているため受診を希望される方は、予約の際に必ず申し出て下さい。心療内科受診を希望する方は、女性診療外来を受診して予約を取る必要があります。お手数をおかけしますが、よろしくお願い致します。
脳外			脳ドック (要予約)			
産婦	母親教室			母乳外来		
耳鼻	補聴器外来 腫瘍外来	アレルギー外来		補聴器外来	学童外来	
アルコール					交代 ※注⑥	※注⑥ 第2・3・4・5週:米田 13:30～ 完全予約制
循環	ペースメーカー外来 ※注⑦					※注⑦ 第2・4週火曜日午後 必ず事前に連絡して下さい。

初診受付:平日8:30～11:00  
但し、整形外科、眼科、放射線科は上表備考のとおり  
再診(予約外)受付:平日8:30～11:00  
但し、整形外科、眼科、放射線科は上表備考のとおり  
休診日:土曜・日曜日・祝日・12月29日～1月3日

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)  
※紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。  
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)  
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)  
FAX 045-853-8356

**お知らせ** 色つき部分が変更箇所となります。ご確認の上受診ください。

(写真右)

戸塚は江戸時代には東海道の宿場として栄えており、旅籠の数も小田原に次ぐ所江戸より10里、小田原まで10里と中間点にあるため、江戸を朝立ちして戸塚で泊まり翌朝小田原に向かって出発するので大変賑わった町でした。

又、現在の戸塚消防署とスルガ銀行戸塚支店の間は大商店が立ち並び、旅籠や遊廓等が点在していました。

